

景観計画適合確認表（商業地域）

近隣商業地域、商業地域

1 良好な景観の形成のために、設計上配慮した箇所についてチェックをしてください。

■景観形成基準（主に建築物・工作物）

区分	基準の内容
位置・配置	<input checked="" type="checkbox"/> 調和：周囲のまちなみと調和するよう配置すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 壁面位置：歩行者空間などのオープンスペースとしての敷地活用を工夫すること。
形態・デザイン	<input type="checkbox"/> 形態：建築物の低層部では、にぎわいの連続性のあるまちなみ景観を形成すること。建築物の中高層部では、壁面の位置や高さ、形態意匠の統一など周辺商店街との景観的調和に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 街角性：人通りの多い交差点付近では建築物などがまちなみにおいて景観ポイントとなることを意識して景観形成に努めること。 <input type="checkbox"/> 高さ：中高層建築物の高さは、周辺のまちなみから著しく突出させることなく、上層部をセットバックするなど圧迫感の軽減を図ること。
屋外設備等	<input checked="" type="checkbox"/> 設置場所：建築設備や配管類、アンテナなどの工作物は、出来るだけ道路から見えない場所へ設置すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 見え方の工夫：やむを得ず見える場所に設置するときは、ルーバーなどで覆うか、目立たないように工夫すること。 <input type="checkbox"/> 日除けテント：取り付け位置やデザインに配慮して、建築物やまちなみと調和させること。
色彩	<input checked="" type="checkbox"/> 色の選択：周辺環境に配慮して、適切な明度・彩度の色彩を選択すること。近隣の景観資源や自然の緑を引き立てる色彩とすること。 <input checked="" type="checkbox"/> 基調色：落ち着いたものを選び、彩度の高い突出した色彩は使わないこと。 <input type="checkbox"/> アクセント：建築物の低層部におけるアクセントとなる色彩は、街のにぎわいを高めるように明度や彩度を工夫すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 「景観色彩ガイドライン」に基づき、その内容を遵守すること。
材料	<input checked="" type="checkbox"/> 外壁材：汚れが目立ちにくく、色あせの少ないものを使用すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 反射：光沢のある材料や、反射光の生じる素材の多用を避けること。 <input type="checkbox"/> 素材感：歩行者の視線に近い低層部は、外壁の仕上げに、自然素材やレンガなどの材料を用いて、素材感を出すよう努めること。
建築物の外構デザイン・敷地の緑化	<input checked="" type="checkbox"/> 敷地際：大規模施設や集合住宅を建築するときは、敷地際の修景緑化や前面若しくは隣接する公共用地と一体となったオープンスペースの確保に努めること。 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化：街のうるおいを高めるよう、出来るだけ花壇や植え込みなどの設置に努めること。
車庫・駐車場等	<input type="checkbox"/> 配置：車の出入り口は、町のにぎわいを分断しないよう建物裏側に配置すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化：車庫や駐車場は、植栽などの工夫をして内部が道路側から目立たないようにすること。 <input checked="" type="checkbox"/> 修景：駐輪場、サービスヤード、ゴミ置場などは、内部が道路側から目立たないようにすること。

自動販売機	<input checked="" type="checkbox"/> 周辺景観になじむように、位置や色彩、デザインを工夫すること。
夜間照明	<input type="checkbox"/> 周辺の地域特性に配慮した照明計画とすること。

■特別配慮事項

区分	基準の内容
電波塔	<input type="checkbox"/> 立地の選定及び高さの設定にあたっては、眺望景観の妨げにならないよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 文化財など特に重要な景観資源の周辺への立地は、極力避ける。 <input type="checkbox"/> 鉄塔の形状は、鋼管柱タイプを基本とし、出来る限りすっきりとした形態意匠とする。 <input type="checkbox"/> 色彩は、空に溶け込む色(グレー系)を基本とする。ただし、山林に設置する場合は、ブラウン系の色彩とする。
開発行為	<立地する場所の景観特性への配慮> <input type="checkbox"/> 敷地内及び周辺の良好な樹林や河川、水辺などを生かすよう配慮する。
土地の開墾、土石の採取、鉱物の採掘その他の形質の変更	<土地の形質の変更の場合> <input type="checkbox"/> 既存地形の改変を少なくするよう努め、大規模な法面や擁壁が生じないよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 長大な擁壁や法面が生じる場合は、擁壁や法面の緑化、前面への植栽、色彩・構造の工夫などにより、景観への影響の低減に努める。特に、観音山などの丘陵部では、周辺部からの見え方に配慮する。 <大規模開発の場合> <input type="checkbox"/> 道路や河川、公園、保存すべき樹木など、周辺の景観との調和を考えた土地利用や施設の配置をするよう努める。
屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積	<input type="checkbox"/> できる限り低く、整然と積み上げ、周辺に圧迫感や危険性を与えないよう努める。 <input type="checkbox"/> 植栽又は塀などにより、公共空間からの遮蔽に努める。
地域特性	<input checked="" type="checkbox"/> 「高崎市景観計画」地域別景観形成の方針を確認し、配慮する。

2 良好な景観の形成のために、設計上特に配慮した内容について具体的に記入してください。

シンプルなデザインとし、色彩は暖色を基調として、柔らかい印象のものにした。敷地際や駐車場部分に植栽をし、うるおいのある空間となるよう心掛けた。建築設備や配管類はなるべく目立たないように設置した。